

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善														
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指導(目標・実績)									事業評価の成果指導(目標・実績)						H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			H29年度			H30年度			H29年度			H30年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	事業評価	1次評価(担当者評価)		2次評価							
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績								達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由	R2年度予算要求の方向性	所属長評価		
生涯学習の推進	地域教育研究事業	・社会教育関係団体である伊万里市小中学校連合PTAIに対し、指定する中学校区単位で各種テーマに関する研究を行い、その成果を誌上または現地で発表する事業を委託する。 【H30年度実績】 ○指定中学校区 国見中・滝野中学校区、山代中学校区、	委託料	千円	80	80	100%	80	80	100%	研究発表回数	回	2	2	100%	2	2	100%	80	80	80	中	対象地区では活発な活動が展開されており、対象校区を広げていくことで全体の成果を上げることができる。	なし	連携体制づくりを推進するために必要な予算であり、削減の余地はない。	維持	引き続き、家庭・学校・地域が連携し、家庭教育力の向上に取り組んでいく。	連携体制づくりを推進するために必要な予算であり、現状を維持していく。	維持	今日社会教育や地域づくりに求められる地域全体の連携強化に繋がる事業であり、維持が必要である。	
生涯学習の推進	成人式開催事業	・成人式の企画、運営を実行委員会に委託し、新成人自らが式典を開催する。 【式典】 ○開催日 平成31年1月13日(日) ○場所 伊万里市民センター	新成人該当者数	名	590	610	103%	620	639	103%	新成人の出席率	%	85	80.3	94%	85	74.5	88%	215	215	215	低	出席率の向上を図ることにより、成果の向上は見込めるが、現状でも概ね成果は達成できており、向上の余地は低い。	なし	開催に必要な最小限の予算であるため、削減の余地はない。	維持	実行委員会方式をさらに充実させ、実質的に新成人で式典企画運営できるように取り組む。	開催に必要な最小限の予算であるため、現状を維持する。	維持	成人式は、開催を前提としており、現状維持。	
青少年の健全育成の推進	青少年育成団体支援事業	・社会教育関係団体の社会教育活動に対し、活動費補助金を交付する。 【交付団体】 ○市子ども会連合会 ○ボイスカウト伊万里地区協議会 ○伊万里海洋少年団 ○伊万里少年少女合唱団	補助金の交付	千円	165	165	100%	165	165	100%	会員数	人	5,000	4,066	81%	5,000	4,131	83%	165	165	165	低	会員数の減少傾向が続いており、求められている教育委員会の支援にも限りがあることから、成果向上の余地は低い。	なし	必要最小限の補助であり、これ以上の削減は困難である。	維持	市の責務である青少年の健全育成や家庭教育力の向上に貢献する活動を続けられており、団体の活動が低下し青少年の健全育成の推進への貢献が低下すれば、その部分を行政が担う必要があるため。	必要最小限の補助であるため、現状を維持する。	維持	各団体、会員数が減少する中で、補助金の削減は、活動そのものの衰退に繋がる可能性があり、慎重な対応が必要である。	
文化活動の推進	文化団体支援事業	・社会教育関係団体である伊万里市文化連盟の社会教育活動に対し、補助金を交付する。 【団体概要】 ○加盟団体数 33団体 ○会員数 1,099人 ○活動内容 市文化祭、文化講演会などの文化行事を開催するほか、加盟団体の連携や文化活動功労者の顕彰などを行う。	補助金の交付	千円	155	155	100%	155	155	100%	会員数	人	2,000	1,202	60%	2,000	1,099	55%	155	155	155	低	会員の高齢化と会員数の減少傾向が続いており、求められている教育委員会の支援も限りがあることから、成果向上の余地は低い。	なし	過去に補助金削減に伴い、文化祭等のチケット販売など自主財源の確保に努められ、比較的自立した運営が行われている。加盟する各芸術文化団体への補助支援を含めて事業を実施されており、これ以上市補助金を削減することは事業成果の低下を招きかねない。	維持	市の責務である芸術文化振興に貢献する活動を続けられており、市文化連盟の活動が低下し、その部分を行政が担う必要があるため。	必要最小限の補助であるため、現状を維持する。	維持	各団体、会員数が減少する中で、補助金の削減は、活動そのものの衰退に繋がる可能性があり、慎重な対応が必要である。	
生涯学習の推進	伊万里未来プランナー養成事業	・地域貢献を志す若者の企画立案と実践をサポートするための講座を開催し、若者自らが企画する地域活動への参加により、人・情報・地域をつなぐ人材を育成するとともに、若者が「ふるさと伊万里」の価値を再認識し、「ふるさと伊万里」にとどまるような意識付けを図る。	研修会等の開催回数	回	5	3	60%	3	3	100%	参加実人数	人	15	20	133%	15	18	120%	235	267	259	低	参加者を多く集めることにより成果の向上は見込めるものの、そのためには魅力ある講座とするための講師謝礼等の費用が必要となる。	なし	開催に必要な最小限の予算であるため、削減の余地はない。	縮小	伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略がR元年度までの事業計画であり、今後の事業の見直し・終了に合わせ、事業の方向性を決定する。	伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し等に合わせて事業の方向性を検討し、その決定により予算要求の可否を判断する予定。	維持	事業効果の向上の観点から、課題等適時整理、検証し、事業内容に反映していく作業が必要である。	
生涯学習の推進	自治区活動促進事業	・住民が自主的に行うコミュニティ活動に対し補助金を交付し、コミュニティ活動の促進を図る。 【補助実績(直近3年)】 ○平成30年度(1件) 東山代町川内野区 屋外放送設備(無線放送システム)整備 ○平成29年度(1件) 南波多町水留区 屋外放送設備の更新 ○平成28年度(1件) 大川町立川区 屋外放送設備の更新	補助金の交付件数	件	1	1	100%	1	1	100%	補助金の交付額	千円	1,200	1,200	100%	2,500	2,500	100%	1,200	2,500	2,500	低	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ活動に必要な備品の整備を希望する自治区はあるものの、採択件数が限られている。	なし	事業に関しても一般社団法人自治総合センターで採択され、その財源については全額同センターから充当されるため。	維持	一般社団法人自治総合センターの助成事業を希望する自治区があることから、この補助金制度は維持していく。	助成事業を希望する自治区からの相談を受けており、採択事業があれば、補正予算にて要求する。	維持	コミュニティ助成事業として採択されれば、実施するため、維持。	
生涯学習の推進	伊万里塾開催事業	・市民の郷土意識を高めるとともに、地域の伝統文化を活かしたまちづくりにつながる学習と実践活動の講座を中心に、各塾実行委員会に委託して実施している。 ○総講座数 111回	塾の開設数	塾	14	14	100%	14	14	100%	延べ受講生数	人	3,000	2,511	84%	3,000	1,944	65%	490	490	461	中	講座内容の充実により、ある程度の成果向上は可能である。	なし	現行の講座を維持したうえでコスト削減は、困難である。	縮小	R元年度は全市対象の1塾分を残し、各地区公民館での塾分は地域づくり推進事業において地域裁量により実施を検討されることとなった。	地域づくり推進事業における事業の精査等を行ったあと今後の方向性を検討し、予算要求を行う。	維持	学習活動は、地域づくり(実践活動)の基礎となるもので、維持するとともに、講座内容については、実践を見据えた中で企画立案が求められる。	
生涯学習の推進	子ども伊万里塾開催事業	・未来を担う子どもたちに伊万里の魅力や愛着と誇りを持ってもらうために、学校・家庭・地域が連携協力し、放課後・週末・長期休業期間を利用して、伊万里の歴史・風土・文化・産業など学びの機会を提供するほか、遊びやスポーツ、学習支援を行う。 ・H28年度の事業開始後、順次、実施地区を拡大し、H30年度には実行委員会と市内全13地区で実施した。	実施主体数	地区	7	7	100%	14	14	100%	延べ受講生数	人	1,250	1,827	146%	1,600	3,599	225%	680	1,100	996	中	市内全地区へ事業を広げることや、講座内容の充実により、受講生の増加は見込める。	なし	現行の講座を維持したうえでコスト削減は、困難である。	縮小	R元年度は実行委員会分を残し、各地区公民館での塾分は地域づくり推進事業において地域裁量により実施を検討されることとなった。	地域づくり推進事業における事業の精査等を行ったあと今後の方向性を検討し、予算要求を行う。	維持	本事業は、地域づくり推進事業に含まれることとなったため、令和元年度の取り組み状況を確認し、今後の判断材料とする。	

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善															
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指導(目標・実績)									事業評価の成果指導(目標・実績)									H29年度		H30年度		事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			指標名等			H29年度			H30年度			指標名等			H29年度			H30年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	事業評価	1次評価(担当者評価)		2次評価		
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由								R2年度予算要求の方向性	所長評価			
生涯学習の推進	大坪保育園・公民館複合施設整備事業	国の「公共施設等適正管理推進事業債」を活用し、大坪保育園と大坪公民館を複合施設として整備する。 ・H30年度は基本設計を行った。	事業費	千円	0	0	0%	3,071	2,933	96%	基本設計事業進捗率	%	0	0	0%	100	100	100%	0	3,071	2,933	高	今後の事業進捗により複合施設整備を実施していく。	なし	必要な予算を計上したものであり、削減はできない。	拡大	令和元年度に実施設計を行い、整備を進めていく予定。	複合施設建設工事に要する予算要求を行う。	維持	事業計画に則り、進めていくこととしており、令和3年度までの臨時的事業であるため、維持。		
生涯学習の推進	自治公民館新設支援事業	・自治公民館の新築・改築等に対する補助金を交付し、コミュニティ活動の促進を図る。 【補助実績(直近)】 ○平成30年度(1件) 波多津町中山区(新築) ※コミュニティ助成事業 ○平成28年度(1件) 大川内町平尾区(改築) ※市自治公民館建築等補助金 ○平成27年度(1件) 南波多町大川原区(新築) ※コミュニティ助成事業費補助金	補助金の交付	件	0	0	0%	1	1	100%	補助金の交付額	千円	0	0	0%	15,000	15,000	100%	0	15,000	15,000	低	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用しており、整備を希望する自治区はあるものの、採択件数が限られている。 コミュニティ助成事業の対象とならない場合は市自治公民館建築等補助金があるが、要件を満たす場合が少ない。	なし	コミュニティ助成事業は一般社団法人自治総合センターで採択され、その財源については全額同センターから充当される。 市自治公民館建築等補助金は過去に見直しを重ねて現在の要件・補助金額となっており、他に補助制度がないため、これ以上の削減は地域のコミュニティ活動の衰退を招きかねない。	維持	希望する自治区があることから、この補助金制度は維持していく。	助成事業を希望する自治区からの相談を受けており、コミュニティ助成事業の採択事業もしくは市自治公民館建築等補助対象があれば、予算を要求する。	維持	コミュニティ助成事業として採択されれば、実施するため、維持。		
生涯学習の推進	波多津町「小さな拠点」づくり基幹拠点整備事業	波多津町を本市における地方創生「小さな拠点」づくりのモデル地区として位置づけ、基幹拠点施設となる波多津町コミュニティセンターの新築、整備を行った。 平成30年度は旧波多津公民館の解体を行うとともに跡地を駐車場として整備を行った。	事業費	千円	355,933	342,998	96%	16,169	15,592	96%	事業進捗率	%	100	100	-	100	100	100%	342,998	16,169	15,592	なし	H30年度の解体により事業を完了したため。	なし	必要な予算を計上したものであり、削減はできない。	完了	H30年度の解体等により事業を完了した。	H30年度で完了した。	完了	H30年度で完了。		
文化活動の推進	市美術展開催事業	創意的意欲に溢れる美術作品を公募・展示し、広く市民に美術鑑賞の機会を提供する場として、伊万里市美術展を開催し、美術文化の振興を図る。 主催:伊万里市美術展実行委員会 開催時期:毎年5月 開催場所:市民センター文化ギャラリー部門:書、写真・工芸、絵画	出品者数	人	160	141	88%	160	126	79%	観覧者数	人	1,300	1,244	96%	1,300	1,333	103%	60	60	60	低	更にコストをかければ出品者数、観覧者数の若干の増加を見込める可能性もあるが、現状でも広報伊万里やケーブルテレビ(有料含む)、巡回展等により広く広報を行っており、成果向上の余地は低い。	なし	すでに相当額の予算削減が行われており、実行委員会や関係者のボランティアにより支えられ実施していることから、これ以上の削減は困難な状況である。	維持	市民の芸術文化に関する活動は、まちづくりに対する意識・意欲に大きく影響するため、現行予算で当事業を維持していく必要がある。	現行予算は必要最低限のものであり、R2年度もR1年度並みの予算要求を行う。	維持	現行予算規模で当事業を維持していくが、広報のやり方や開催内容等について更に改善の余地がないか検討していく。		
文化活動の推進	市民音楽祭開催事業	優れた芸術文化を鑑賞するとともに市民参加の文化の推進及び音楽を通じた世代間交流を図るため、市民誰もが自由に参加して楽しむ市民音楽祭を開催する。 主催:市民音楽祭実行委員会 開催時期:毎年12月 開催場所:市民センター文化ホール	参加団体数	団体	16	19	119%	16	20	125%	観覧者数	人	570	570	100%	570	570	100%	117	117	117	低	更にコストをかければ出演者数、来場者数の若干の増加を見込める可能性もあるが、現状でも広報伊万里やケーブルテレビ、巡回展等により広く広報を行っており、成果向上の余地は低い。	なし	すでに相当額の予算削減が行われており、実行委員会や関係者のボランティアにより支えられ実施していることから、これ以上の削減は困難な状況である。	維持	市民の芸術文化に関する活動は、まちづくりに対する意識・意欲に大きく影響するため、現行予算で当事業を維持していく必要がある。	現行予算は必要最低限のものであり、R2年度もR1年度並みの予算要求を行う。	維持	現行予算規模で当事業を維持していくが、広報のやり方や開催内容等について更に改善の余地がないか検討していく。		
青少年の健全育成の推進	青少年相談事業	青少年や保護者等が抱える悩みに対して、相談者が気軽に来所または電話により相談できる体制・環境として、青少年相談室を設置している。 相談業務委託先:青少年なやみ相談つくしの会(校長OB等7人) 開設日時:開庁日の午前9時から午後5時まで	開所日数	日	242	242	100%	244	244	100%	相談件数	件	120	155	129%	120	103	86%	1751	1771	1769	低	来所または電話により相談を受ける現在の体制では成果が見えにくい面もあるが、相談には親身に対応し相談者も安心するという役割を果たしてあり、成果向上の余地は低い。	なし	青少年なやみ相談つくしの会への委託料は相談員報酬的な内容であるが、最低賃金基準並みの金額で受託されており現状を考慮すると、これ以上の削減は厳しい。	維持	最近はいたづら半分のような電話もみられるが、どのような内容であっても相談者をシャットアウトしないことが行政の取るべき姿勢であることから、少なくとも現行予算規模で当事業を維持する必要がある。	現行予算は必要最低限のものであり、R2年度もR1年度並みの予算要求を行う。	維持	いじめ防止等に係る関係法令に基づく相談業務であり、現状を維持する。		
青少年の健全育成の推進	青少年育成市民会議支援事業	全市あげた青少年健全育成に向け、市青少年育成市民会議に対し事業費補助を行い、各町青少年育成町民会議等の取り組み支援を行うとともに、キャンプ事業や非行防止パトロール等の実施、青少年育成関係団体の組織強化・活動支援を行っている。 ○伊万里サマーキャンプ:夏季休業期間中(5泊6日)沖縄県(本島、渡嘉敷島) ○チャレンジキャンプ:夏季休業期間(3泊4日)山代町久原 ○非行防止キャンペーン活動:強調月間に合わせた広報・啓発活動等 ○定期巡回パトロール:毎月末に市街地の店舗、公共施設等 ○青少年育成団体の事業助成及び支援:市青少年団体連絡協議会事業助成、各町青少年育成町民会議事業支援、市子ども会連合会事業後援等	青少年体験活動事業の実施	回	2	2	100%	2	2	100%	青少年体験活動事業の参加人数	人	50	22	44%	25	16	64%	433	433	433	低	限られた予算の中で、青少年の健全育成のため、家庭や学校、地域社会及び関係団体が、互いに連携、協力を図りながら様々な事業に取り組んでおり、成果向上の余地は低い。	なし	以前と比べ予算が大幅に削減され、伊万里サマーキャンプが一時隔年実施になった平成23年度からは更に補助金が削減された。現在は市内企業・団体等の賛助金を募り活動しているため、賛助金集めが必須となっている。賛助金の大幅な増も見込めず、これ以上の補助金の削減は難しい。	維持	青少年を取り巻く社会環境が多様化・複雑化するなか、従来どおりの活動を推進するには難しい状況も出てきており、当面は現状を維持しながらも、各種事業の取り組みについては関係者の意見を聞き、スタッフ不足を含め今後の検討をしていく必要がある。	現行予算は必要最低限のものであり、R2年度もR1年度並みの予算要求を行う。	改善	現状を維持しながらも、今日の様々な社会環境等を踏まえて、各種事業の見直しを検討する時期にある。		

【Plan】計画 / 【Do】実施																【Check】評価 / 【Action】改善															
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指導(目標・実績)									事業評価の成果指導(目標・実績)						H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			指標名等			H29年度			H30年度			指標名等			H29年度			H30年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	事業評価	1次評価(担当者評価)		2次評価	
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由								R2年度予算要求の方向性	所属長評価		
青少年の健全育成の推進	放課後子ども教室開催事業	地域住民の参画による安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)として「放課後子ども教室」を行い、子どもたちと勉強やスポーツ、文化活動などの交流活動を推進している。 開設地区 7公民館(伊万里・大坪・立花・大川内・牧島・黒川・山代)	開設箇所数	教室	8	8	100%	8	8	100%	参加児童数	人	3000	1714	57%	3000	1492	50%	586	586	583	中	指導者確保や実施場所の問題から難しい側面もあるが、放課後児童クラブとの連携により、成果向上の余地はある。	なし	無償ボランティアが確保できれば可能であるが、それでは行政課題への対応とは言えず地域への押し付けになってしまい、国庫事業から外れることになる。	維持	国・県の補助を受け実施している事業であり、補助事業の要件と地域の実情に合うように今後も当事業を維持していくが、国が放課後児童クラブとの一体型の取り組みを推進しており、事業内容を見直す必要が出てくる可能性がある。	改善	国庫事業の趣旨に沿って、その要件を満たすよう事業を展開していく必要がある。		
生涯学習の推進	あおぞら青年学級開催事業	特別支援学校や特別支援学級の卒業生を対象に、様々な学習の機会を通じて自立を促すことを目的とした青年学級を開催している ○毎月開催(年間12回) ○場所:伊万里中学校たばな学級 ○主な内容:奉仕活動、ものづくり体験、キャンプ、研修旅行ほか ○指導者:有識者、特別支援学級教諭	年間開催数	回	12	11	92%	12	10	83%	学級制の参加者数(1回あたり平均)	人	15	12	80%	15	10	67%	56	64	50	低	現予算の範囲においては指導者数に限りがあるため、参加者が一定を超える人数の場合、安全面から対応が難しい。	なし	必要最小限の経費で活動しており、これ以上の削減は困難である。	維持	生涯学習の推進において必要な事業であり、これまで同様その維持に努める。	維持	平成28年施行の「障害者差別解消法」に基づき、特別支援学校や特別支援学級卒業生の社会での孤立を防ぎ、自立を促進する必要があるため、必要な経費を要求する。		
人権教育と啓発の促進	同和問題講演会開催事業	人権・同和教育の推進を図るため、広く市民を対象に同和問題講演会を開催している	講演会の開催数	回	1	1	100%	1	1	100%	講演会の参加者数	人	500	519	104%	500	488	98%	567	574	478	中	会場である市民センターの収容人員は570人であり向上の余地は認められる。参加者増へ向けて積極的なPRを展開する。	なし	市民の人権意識の深まりに応じた見識と、集客へ向けた知名度を持つ講師を選定する必要があることから、これ以上の削減は困難である。	維持	人権教育・啓発を促進するためには、誰もが気軽に参加できる雰囲気の人権イベントが不可欠である。	維持	平成28年施行の「部落差別の解消の推進に関する法律」において、地方公共団体は部落差別の解消に向けた教育・啓発を行う責務を明示されていることから、必要な経費を要求する。		
人権教育と啓発の促進	同和教育集会所管理運営事業	本市の同和問題解決の拠点施設である「伊万里市立同和教育集会所」の適正運営に要する経費	教室開催回数	回	18	18	100%	18	18	100%	集会所利用者数	人	200	710	355%	200	806	403%	3,626	3,718	3,690	低	限られたスペースでは参加者を大幅に増やすことは困難であり余地は低い。	なし	施設の適正な管理運営を行うためには最低限の運営費用が必要であり、これ以上の削減は困難である。	拡大	同和教育の本質が「部落差別の現実」に深く「学ぶこと」であることを念頭に置き、人権教育・啓発を促進するためには、同和教育集会所の果たす役割は重要であり、研修施設としての機能充実を図る必要がある。	維持	平成28年施行の「部落差別の解消の推進に関する法律」において、地方公共団体は部落差別の解消に向けた教育・啓発を行う責務を明示されていることから、必要な経費を要求する。		
人権教育と啓発の促進	社会人権・同和教育団体支援事業	地域に密着した教育・啓発事業を展開するため、伊万里市人権・同和教育推進協議会に事業を委託する ①指導者育成講座 ②研修・講座開催事業 ③住民啓発事業(ほか)	研修会の開催回数	回	140	185	132%	140	199	142%	研修会への参加人数	回	5,500	6,770	123%	5,500	7,880	143%	1,440	1,440	1,440	低	現在もあらゆる層の市民を対象とした教育・啓発を行っており、参加者を大幅に増やすことは困難である。	なし	平成27年度に15%の削減を行っており、これ以上の削減は困難である。	維持	人権教育・啓発を促進するためには、地域に密着した取り組みが不可欠であり、人権・同和教育推進協議会の果たす役割は重要である。	維持	平成28年施行の「部落差別の解消の推進に関する法律」において、地方公共団体は部落差別の解消に向けた教育・啓発を行う責務を明示されていることから、必要な経費を要求する。		
文化財の保護と活用	カプトガニ保護促進事業	伊万里市カプトガニを守る会の活動を活性化するために、活動費の一部を補助する。 伊万里高校 理化・生物部にカプトガニの研究調査を委託する。 カプトガニの館を運営している牧島のカプトガニホテルを育てる会に運営費を補助する。 カプトガニ産卵地清掃を共催で実施する。 カプトガニの産卵を観る会を共催で実施する。	カプトガニ展示館運営事業費補助金の交付	千円	1562	1562	100%	1562	1562	100%	展示館入館者数	人	5000	3983	80%	5000	3367	67%	1594	1594	1594	低	確認つがい数の大幅な増加は難しいが、PR方法の見直しによって産卵を観る会の参加者数の増加が見込める。 カプトガニの館の来場者数は、リニューアルと国天然記念物指定で一時的に増加したが、現在はそれ以前の水準に戻っている。	なし	カプトガニの館への運営支援の補助金削減は飼育に悪影響を与えかねないため、削減の余地はない。 伊万里市カプトガニを守る会への補助金は行政の関与を示す程度のものであり、削減の余地はない。 伊万里高校への研究調査委託は、必要最低限な基礎資料となる産卵つがい数の調査に係るものであり、削減の余地はない。	維持	市民・地域・学校・行政の4者の連携による現状の保護体制を維持することが望ましい。 伊高への委託、守る会への補助金なども、活動の活性化によっては増額の検討も必要である。	維持	天然記念物指定であり、市の財政的関与は必要であり、維持。		
文化財の保護と活用	地域史研究団体支援事業	伊万里市郷土研究会と松浦党研究連合会の活動を活性化させる根拠法令のために、活動費の一部を補助する。 ・補助金交付申請書・交付要綱の送付 ・補助金交付申請書の提出・受理 ・補助金交付決定 ・交付決定通知書の送付 ・補助金交付請求書の提出・受理 ・補助金の交付 ・実績報告書の送付 ・実績報告書の提出・受理	伊万里市郷土研究会への補助金の交付	千円	81	81	100%	81	81	100%	研究誌発行部数	部	1200	1200	100%	1200	1200	100%	129	129	129	高	伊万里市の歴史などは、未開拓な分野が多く、新しい研究者の加入が望まれる。	なし	優れた研究成果の積み重ねのためには安定した財源が必要であり、これ以上のコスト削減余地はない。	維持	新しい研究成果が見られるよう、事業内容の改善を指導するための研究懇談会の場を設け、協議を継続しているため維持とする。	維持	基本的には、現状維持の予定ではあるが、活動の活性化によっては増額の検討も必要である。	維持	市内唯一の郷土史研究団体であり、事業維持。
文化財の保護と活用	市指定文化財保護促進事業	市内の文化財保護団体の活動を促進するために、活動費の一部を補助する。 補助金交付申請書・補助金交付要綱の送付 補助金交付申請書の提出・受理 補助金交付決定・交付決定通知書の送付 補助金交付請求書の提出・受理 補助金の交付 実績報告書の送付 実績報告書の提出・受理	補助金の交付	千円	280	280	100%	280	280	100%	指定・登録文化財数	件	56	56	100%	57	56	98%	280	286	286	なし	現状の事業方法が妥当であり、引き続き効果を上げることができる。	なし	現状の助成額では、文化財の維持管理のためには不足している。文化財保護のための意識付けの意味合いが大きくなっており、これ以上のコスト削減余地はない。	維持	指定文化財を保存・活用するための経常的な予算であり、現状を維持する必要がある。	維持	基本的には、現状維持の予定ではあるが、活動の活性化によっては増額の検討も必要である。	維持	市が指定している文化財であり、財政的関与は必要。

【Plan】計画 / 【Do】実施																		【Check】評価 / 【Action】改善																		
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指導(目標・実績)									事業評価の成果指導(目標・実績)									H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)					
			指標名等			H29年度			H30年度			指標名等			H29年度			H30年度			決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はある か	評価の理由	コスト削減余 地はあるか	事業 評価	1次評価(担当者評価)			2次評価					
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由								R2年度予算要求の方向性	所属長評価							
文化財の 保護と活 用	大川内鍋島窯 跡学術調査事 業	25年度に整備計画を含む活用計画を策定し、26年度から国庫の補助金を使って、初期鍋島ゾーンと陶工屋敷跡ゾーンの遺構の範囲や性格、さらに歴史的変遷を確認するため発掘調査を実施している。 30年度も継続して発掘調査を進め、得られたデータは整備計画内に示した価値表現を検討するための資料とした。調査後は整備のための公有化等を進める	史跡地の学 術調査(発 掘調査)の 実施	回	1	1	100%	1	1	100%	学術調査成 果の発表	回	3	5	167%	3	3	100%	2371	1632	1632	低	文化庁、佐賀県、調査指導委員の意見を踏まえながら発掘調査を進めており、これ以上の成果を上げることは困難である。	なし	文化庁、佐賀県、調査指導委員の意見を踏まえながら発掘調査を進めており、現状の方法が効果を上げることができている方法である。	維持	発掘調査であり専門性が求められ、やり方を変えての成果向上の可能性は低い。	発掘調査の全体計画としては、36年度(2024)まで計画している。 令和2年度(2020)には途中経過での成果発表(シンポジウム)の開催を予定している。 全体計画の中でR2年度予算要求を予定している。	維持	全体計画完了までは、維持。						
文化財の 保護と活 用	明治維新150 年記念偉人顕 彰事業	本市の幕末・明治維新における偉人や偉業を顕彰することで郷土の愛着及び誇りの醸成と地域づくりに貢献し、観光客には伊万里の新たな魅力を周知する。 本市の幕末・明治維新における偉業や偉人の調査研究を行った。 調査成果を基に「幕末・明治と伊万里の人」展を開催した。 展示期間中にイベント事業(記念講演、小中学校生による調べ学習成果発表)を行った。 調査成果を冊子にまとめ小中学校に配布。	幕末・明治 と伊万里の 人展の開催 数	回	-	-	-	1	1	100%	幕末・明治 と伊万里の 人展の入場 者数	人	-	-	-	2,000	837	42%	0	3,500	3,500	低	展示内容は充実していた。	低	調査内容や過去の調査研究実績から市郷土研究会に委託しており、コスト削減の余地は低い	完了	入場者数については目標を下回ったが、常設展の2.5倍の入場者数があり、多くの市民に伊万里の偉人やその業績を伝えることができた。 また、小学生による学習成果発表として80点の出品数があった。	R2年度の予算要求なし	完了	H30単年度事業。						